

マラウイの子ども達から宮城へのメッセージ

経緯

マラウイで活動中の青年海外協力隊員の配属先の学校の礼拝で、生徒が「日本のために祈ろう」と提案。配属先の同僚から日本に対するお見舞いの言葉

↓ 宮城県出身の中野隊員の発案

マラウイの子ども達の想いを宮城へ届けたい

生徒・児童への課外授業を通じて、地震の状況等について正しい情報を伝達したうえで、メッセージを制作。マラウイ人の日本に対する正しい理解・交流の促進に繋がるほか、宮城県民の青年海外協力隊員活動に対する理解促進を期待。



両国の国旗をイメージしたデザイン(写真上)
筆で書いた日本語のメッセージ(写真右)



ムジンバ県の画家が制作。現地の言葉で「私達はトラブルの中でもあなたと共にいます」



ムワティブセカンダリースクール生徒の皆さん

御協力をいただいた隊員の方々

- 玉置梨絵 (22年度4次隊・薬剤師)
- 内田充洋 (22年度2次隊・理数科教師)
- 大西功二 (21年度2次隊・理数科教師)
- 中野貴之 (21年度3次隊・理数科教師)
- 古澤輝由 (22年度3次隊・理数科教師)
- 鈴木祥子 (22年度1次隊・養護)
- 竹内恭平 (22年度1次隊・青少年活動)
- 菅野将央 (22年度1次隊・農業土木) ほか

マラウイに派遣中の青年海外協力隊員・シニアボランティア有志から、宮城県に10万円の義援金をいただきました。ありがとうございました。